

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	美容師法を中心に、美容業に関係の深い法令の内容を勉強し、公衆衛生を担う美容師の社会的責任を学ぶ。	2通	30	-	○	-	-	○	-	-	○	-
○			衛生管理	公衆衛生全般について勉強し、美容師として注意を払わねばならない感染症、環境衛生を学ぶ。また、美容業に必要な消毒の意義、目的及び実際の消毒法を学ぶ。	2通	90	-	○	-	-	○	-	○	-	-
○			美容保健	人体の構造および機能について学び、皮膚、毛髪等を科学的に理解する。	2通	120	-	○	-	-	○	-	○	-	-
○			美容の物理・化学	美容の施術の際に使用する器具や香粧品を正しく取り扱うために必要な物理・化学を学ぶ。	2通	90	-	○	-	-	○	-	-	○	-
○			美容文化論	美容業における流行の意義と役割について理解し、美容上の服飾の原理や意義とエチケットについて学ぶ。	2通	90	-	○	-	-	○	-	○	-	-
○			美容運営管理	美容業の経理事務及び労務管理について学び、美容師に多い健康上の問題や健康管理の意義を理解する。	2②	60	-	○	-	-	○	-	○	-	-
○			教養	サロンでの接客技術や美容業における接客の意義と技術について学ぶ。電話・応対・受付・案内などを身に付ける。	2通	120	-	○	-	△	○	-	○	○	-
○			美術	美容における造形及び色彩の意義と応用について学ぶ。(コンテスト実施)	1② 2 ①	40	-	○	-	△	○	-	-	○	-
○			色彩	パーソナルカラーによるプランディングや方法を伝え、その活用アドバイザーになるための知識について学ぶ。(検定実施)	1②	30	-	○	-	△	○	-	-	○	-
○			美容技術理論	美容に用いられる器具や機械の種類、目的を理解し、その正しい取扱方法を学び、美容の基礎的技術理論を実際に即して身に付ける。	2通	120	-	○	-	-	○	-	○	-	-
○			美容実習	美容技術理論の内容に即して、基本的技術を身に付けると共に、実践実習を行い総合的技術を学ぶ。(校外実務実習を含む)	2通	810	-	-	-	○	○	○	○	○	○

○		エステティック技術	実践実習をしながら、エステティック概論、皮膚の生理と構造、マッサージ理論やフェイシャルケア技術について学ぶ。(認定試験実施)	1 ② ①	60	-	△	-	○	○	-	○	-	-
○		メイクアップ技術	実践実習をしながら、メイクアップ技術の理論や基本的施術の方法を学ぶ。(認定試験実施)	1 ② 2 ①	60	-	△	-	○	○	-	○	-	-
○		ネイル技術	実践実習をしながら、ネイルケア技術の理論や基本的施術の方法を学ぶ。(認定試験実施)	1 ② 2 ①	60	-	△	-	○	○	-	○	-	-
○		着物着付技術	実践実習をしながら、着物着付けの基本的技術を身に付ける。(コンクール実施)	1 ③ 2 ①	60	-	△	-	○	○	-	-	○	○
○		サロンワーク技術	ブロー技術としてロールブラシの使用方法を、シャンプー技術としてバックシャンプーの手順や方法を、カラーリング技術としてカラーリングの基礎知識と施術方法を学ぶ。	2 通	170	-	△	-	○	○	-	○	-	-
合計			16 科目	2010 単位時間 (単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
所定の教科科目を履修し、履修すべき2/3以上の出席(実技を伴う教科は4/5以上)を満たすとともに、卒業試験の各教科の評点60点以上を卒業認定とする。	1 学年の学期区分	3 期	
	1 学期の授業期間	1 5 週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。